

はじめに

地球研平成 20 年度フルリサーチ (FR) 研究「社会・生態システムの脆弱性とレジリアンス」は本プロジェクトとしての 2 年目を無事終了した。本プロジェクトは地球研の 5 つの領域プログラムの中で「地球地域学プログラム」に所属する。

平成 20 年は世界的金融危機と政治変遷の年であった。株価は 100 年に 1 度の規模で暴落した。原油価格は年明け 1 バレル 100 ドルから、6 月には 139 ドルまで高騰し、12 月には 43 ドルまで急落した。9 月にはレヴィー・ムワナワサがパリで逝去し、それに引き続く大統領選挙ではルピアー・バンダが新大統領となった。新政権への移行は比較的平和に行われた。アメリカでは歴史上初めて、アフリカ系アメリカ人が大統領として就任することとなった。

平成 20 年度はプロジェクト研究員の長期滞在による調査を実施した。東部州ペタウケ郡では、異なる休閒システムが作物収量と土壌に与える影響を調べる実験は継続中である。南部州シナゾングェ郡では、2007/2008 年の農作期に平常の 2 倍を超える雨量を記録した。農家圃場の雨量を測定するために 2007 年 9 月に設置した雨量計と気象ステーションはこの異常な減少を着実に記録した。この年の年降水量はシナゾングェ郡の一部の地域で 1600 mm を記録した。農民達は、作付けを変更するなど、この状況をさまざまな対処行動によって克服していた。集中的な世帯調査は、続行中である。衛星データや航空写真を使った土地利用と植生被覆の歴史的変遷の状況把握と広域世帯調査のデータ分析も進行中である。今年はじめに研究成果公開の一環としてレジリアンス・ワーキングペーパーのホームページでの公開を開始した。プロジェクトメンバーや招へい外国人研究員からの寄稿を得ている。日本語・英語のワーキングペーパーも大学院生らによって出版された。

本プロジェクトは今年度 FR2 の段階を終えた。プロジェクトメンバーの方々にはプロジェクトの順調な発展のためにご尽力をいただき感謝したい。また地球研のプロジェクト評価委員会 (PEC)、所長、プログラム主幹、管理部のスタッフの方々をはじめ、研究部スタッフの方々にこの様な統合プロジェクトを実施するためにご支援いただいたことに感謝申しあげる。

平成 21 年 2 月

総合地球環境学研究所

E-04(FR2) プロジェクト・リーダー

梅津 千恵子